



創造・感謝・勤労

飛 幡 中

2018年度

北九州市立飛幡中学校 学校通信

平成31年2月13日 No. 24

発行責任者 校長 池 浩幸

学校所在地 戸畑区小芝一丁目8番20号

TEL093-882-3652 FAX 882-3618

【 さあ、学年末考査まであと1週間 各学年のしめくりをしっかりとしよう！ 】



早いもので2月も中旬となり、今日のように天気の良い日は何となく春を感じさせる季節になってきました。

さて、いよいよ1年間のしめくりのテストである学年末考査まで、あと1週間となりました。期末考査と同様、9教科のバランスを「いかにしっかりするか・・・」がポイントです。特に三学期は、各教科とも学習内容が1年間の総まとめとなるので、とても一夜漬けの勉強だけでは対応できません。今まで以上に時間を十分に確保して、きちんとした学習計画を立てて取り組んでほしいと思います。万全の体制で、残り1週間にベストを尽くしてください。

また、3年生にとってはいよいよ公立高入試直前の実力テストになります。私立や推薦等で既に進路先が決まった人も、4月以降の高校生活のために学習への取組は、ぜひ続けてください。

(学年末考査時間割)

- 20日(水)：技・家、数学、国語 (3年生は授業(B5、B6、総合)、給食なし)
- 21日(木)：英語、保体、音楽 (3年生は実力テスト(国語、数学、社会)、給食なし)
- 22日(金)：美術、社会、理科 (3年生は実力テスト(理科、英語、学活)、給食あり)

そして、試験が終われば・・・学期末の成績処理の時期です！

3年生になれば評価の大切さはよくわかっていることと思いますが、テストの点数だけ高くてもいい評価にはつながりません。やはり試験の結果よりも大切なのは、

授業態度(参加状態)はどうか、提出物をきちんと出しているか？

ということです。特に、音・美・保体・技家の4教科をしっかりとすることも大切です。

ゴール

一念発起し、遊びも趣味も楽しみも、あらゆるものを我慢して努力した結果、やっと叶えることができた。満足感と安堵感を味わい、ようやく報われたと思っただけで、新たな課題が生じてくる。

お互いの人生は、一つの事が成ったとしても、またすぐに大きな山が立ち上がる。それは果てしない旅、終わりのない苦勞の連続なのかもしれない。

だがいったん目標が達成されると、人は往々にして緊張の糸が切れ、さらなる意欲を失ってしまいがちなものである。だから、次々と生まれる課題は、気力を保ち、成長を続けさせる原動力ともいえる。

いくつ峠を越えれば真の達成感を得られるのかはわからない。それでもゴールをめざして懸命に進んでゆこう。一つ一つ、目の前の山坂を越えるため、ひたすら歩んでゆこう。

そうした一步一步の積み重ねこそが人生であり、その過程でどれだけ力を尽くすかによって人生の価値や生きがいが決まるのである。

次はどんな山が待ち構えているのだろうか。

(PHPより)

結果

スポーツでも勉強でも仕事でも、お互い好成績を求めるものである。もちろん何事もうまくいけば嬉しいし、望み通りの成果をあげなければ意気消沈する。それは人情として当然であろう。

しかし、世の中、結果がすべてかという、決してそうではない。よい結果を残せるに越したことはないが、たとえ残せなかったとしても、それでその人の価値が失われるわけではないのである。

大事なのは精進を重ね、自分にできる精一杯の準備と努力をすること。これ以上できかない、最善を尽くしたといえるところまでやって臨んだのなら、結果は二の次ではないか。

むしろ、懸命に頑張ってもなお思うような結果が得られなかったという挫折、悔しさを味わうことが、より人間に幅と深みを与えてくれる。どれだけ力を出し切り、どれだけ失敗を経験したかによって、その人の価値が決まるといっても過言ではないだろう。

結果にはこだわりすぎないほうがいい。日々、怠ることなく、地道な精進努力を続けていけばよいのである。

(PHPより)